



平成 19 年 9 月 25 日

各 位

会社名 名古屋鉄道株式会社  
代表者名 取締役社長 木下 栄一郎  
コード番号 9048  
上場取引所 東証・名証各第一部  
問合せ先 取締役監理部長 加藤 敏彦  
T E L 052 - 588 - 0846

## 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、本年 5 月 14 日に発表いたしました平成 20 年 3 月期中間期及び通期の連結業績予想を、それぞれ下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1 . 平成 20 年 3 月期中間期連結業績予想の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(単位:百万円,%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 損 益
前回発表予想 (A)	357,000	15,000	14,000	1,000
今回修正予想 (B)	357,000	15,000	11,800	4,900
増 減 額 (B - A)			2,200	5,900
増 減 率			15.7	
(参考)前中間期実績	337,046	15,952	14,472	2,556

#### 2 . 平成 20 年 3 月期通期連結業績予想の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円,%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	720,000	31,000	26,000	14,500
今回修正予想 (B)	720,000	31,000	26,000	12,000
増 減 額 (B - A)				2,500
増 減 率				17.2
(参考)前期実績	696,927	35,089	30,118	12,865

### 3. 修正の理由

中間期の業績につきましては、持分法適用関連会社で計画しておりました保有資産処分が年度末に遅延することに伴い、経常利益が減益となる見通しであります。

また、本年4月に改正された日本公認会計士協会監査第一委員会報告第42号「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金に関する監査上の取扱い」において、負債計上を中止した項目に対する引当金の計上が必要になったことを受けて、当社グループでは、税務上の取扱いに基づいて過去に益金計上していた商品券、バスカード及び旅行ギフト券などの未回収残高について、将来回収が見込まれる金額を引当金として計上することとなり、約29億円を特別損失に計上する見通しであります。このほか、減損損失を追加計上することなどに伴い、法人税等や少数株主損益を加減した中間純損益は59億円悪化する見通しであります。

通期の業績につきましても、中間期に計上いたします負債性引当金の影響により、当期純利益は当初予想から約25億円悪化し120億円となる見通しであります。

なお、個別の業績予想（中間期・通期）の変更はありません。

上記の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上